

早めの対策で安心

第6回

わが家で役立つ保険活用術

住まいを取り巻くリスクに備えましょう

9月の台風15号に続き、大型で強い台風19号は東日本を中心に各地を襲い、甚大な被害をもたらしました。被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

近年の災害では「記録的」「観測史上最高」という言葉をよく耳にします。自然災害が増えたり、大型化になったりするという事は、被害も大きくなり、保険金の支払いが増えていくと考えられます。それによって、保険料がどんどん上がり続けてしまうかもしれません。実際に、10月1日から火災保険料の値上げがありました。

大切な住まいや家財をさまざまなリスクから守る保険は「火災保険」です。火災保険は火事だけでなく、集中豪雨や台風による風水害で被害に遭った場合も補償されます。「高価な家財なんてうちにはないから火災保険は必要ない」と思われる方もいるかもしれませんが、家財には家具類、衣類、寝具類、家電製品をはじめ、歯ブラシや茶わんに至るまでさまざまなものがあります。



台風や強風で窓ガラスが割れ、建物・家財が損害を受けた



大雨による洪水や土砂崩れで床上浸水し建物・家財が損害を受けた

保障には「家財」「建物」の火災保険に加入が必要です

家族の生活用品をまとめて購入した場合、一体いくらかかるでしょうか。たとえば、48歳以上の夫婦で標準世帯における家財の評価額の目安は、1480万円というデータがあります（2019年10月時点）。火災保険は家族が安心して暮らしていく為に必要なものです。ぜひ、住まいを取り巻くリスクに備えるために補償内容や保険金額を見直してみてもいいですか。



越川 周一

協力：総合保険代理店サンツクバ(株)

2級ファイナンシャル・プランニング技能士